

日本赤十字秋田看護大学大学院 看護学研究科修士課程

令和2年度
聴講生募集要項



学校法人日本赤十字学園
日本赤十字秋田看護大学大学院

目 次

別表第 1 教育課程（修士課程）	1
1 出願資格	2
2 出願資格審査(大学を卒業している方は必要ありません)	2
3 聴講生 出願	3
4 聴講生 選考方法	3
5 聴講生 選考結果の通知	3
6 受講手続	3
7 費用	4
8 授業時間及びシラバス	4
9 その他留意事項	4

別表第1 教育課程（修士課程）

科目 区分		授業科目の名称	単位数	履修方法及び修了要件				
				基盤看護学分野 健康生活・療養生活分野 成育看護学分野	高度実践看護学分野			
共通科目		看護研究Ⅰ (CNS A)	2	看護研究Ⅰ 2単位 共通科目及び共通専門科目 から10単位以上	看護研究Ⅰ 2単位 共通科目及び共通専門科目 からCNS A 8単位以上			
		看護管理・政策論 (CNS A)	2					
		看護理論 (CNS A)	2					
		看護教育論 (CNS A)	2					
		赤十字看護特論	1					
		英文講読	1					
		情報科学特論	1					
共通専門科目		心理学特論	2	共通専門科目及び専門科目 から20単位以上 (共通専門科目から1単位以上)	CNS B 6単位			
		コンサルテーション論 (CNS A)	2					
		看護倫理 (CNS A)	1					
		フォレンジック看護特論	2					
		臨床診断学 (CNS B)	2					
		病態生理学 (CNS B)	2					
		臨床薬理学 (CNS B)	2					
専門科目	学 分 野	看護管理・教育特論Ⅰ	2	基盤看護学分野 6単位				
		看護管理・教育特論Ⅱ	2					
		看護管理・教育演習	2					
	療 分 野	健康生活支援特論	2	健康生活・療養生活分野 6単位				
		療養生活支援特論	2					
		健康・療養生活支援演習	2					
	成 育 看護 学 分 野	成育看護学特論Ⅰ	2	成育看護学分野 (助産師資格除く) 6単位 ※1 助産師資格28単位				
		成育看護学特論Ⅱ	2					
		成育看護学特別演習	2					
		助産学概論 ※1	2					
		リプロダクションに関する形態機能 ※1	1					
		ウィメンズヘルス論 ※1	2					
		周産期に必要な検査・診断 ※1	1					
		助産診断・技術学Ⅰ(妊娠期・産褥期) ※1	1					
		助産診断・技術学Ⅱ(分娩期) ※1	1					
		助産診断・技術学Ⅲ(新生児期・乳幼児期) ※1	1					
		周産期ケア ※1	2					
		周産期の保健指導 ※1	2					
		周産期の異常 ※1	1					
		国際・地域母子保健 ※1	1					
		助産管理・経営論Ⅰ ※1	1					
		助産管理・経営論Ⅱ ※1	1					
		助産学実習Ⅰ ※1	9					
		助産学実習Ⅱ ※1	1					
		助産学実習Ⅲ ※1	1					
		高 度 実 践 看護 学 分 野	がん 看護		がん看護学特論Ⅰ(理論編)	2	がん看護 専門科目24単位	
					がん看護学特論Ⅱ(病態生理学)	2		
					がん看護学特論Ⅲ(援助論)	2		
					がん看護学演習Ⅰ(がん薬物療法看護)	4		
					がん看護学演習Ⅱ(緩和ケア)	4		
	がん看護学実習Ⅰ(CNSの役割実習)			1				
	がん看護学実習Ⅱ(がん治療管理実習)			3				
	がん看護学実習Ⅲ(在宅がん看護実習)			2				
	がん看護学実習Ⅳ(高度実践実習)			4				
	精神 看護		精神看護学特論Ⅰ(精神看護理論)	2	精神看護 専門科目24単位 ※2 精神看護学特論ⅤまたはⅥ のいずれかを選択 ※3 精神看護学実習ⅣまたはⅤ のいずれかを選択			
			精神看護学特論Ⅱ(精神・身体状態の評価)	2				
			精神看護学特論Ⅲ(精神科治療技法)	2				
			精神看護学特論Ⅳ(精神医療の歴史・法制度)	2				
			精神看護学特論Ⅴ(慢性期精神看護) ※2	2				
			精神看護学特論Ⅵ(司法精神看護) ※2	2				
			精神看護学演習Ⅰ(援助技法)	2				
			精神看護学演習Ⅱ(精神科治療技法)	2				
			精神看護学実習Ⅰ(専門看護師の役割機能実習)	1				
			精神看護学実習Ⅱ(精神科診断・治療実習)	2				
			精神看護学実習Ⅲ(直接ケア実習)	4				
			精神看護学実習Ⅳ(サブスペシャリティ実習1：慢性期精神看護 直接・間接ケア実習) ※3	3				
			精神看護学実習Ⅴ(サブスペシャリティ実習2：司法精神看護(医療観察法領域の看護) 直接・間接ケア実習) ※3	3				
			研究	看護研究Ⅱ		2	看護研究Ⅱ 2単位 特別研究6単位	看護研究Ⅱ 2単位 課題研究2単位 または 特別研究6単位
				課題研究		2		
				特別研究		6		
修了要件				30単位以上 (助産師資格58単位以上)		42単位以上		

注1) 各分野ごとに履修モデルと履修指導により、別途必修科目を含む履修科目を示す。

注2) 表中のCNS A、CNS Bは、それぞれ高度実践看護師教育課程基準における共通科目A、共通科目Bを表す。

「聴講生」とは、単位の修得は目指さず、本大学院で開講している授業科目を大学院生と一緒に聴講する学生です。

1. 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者又は令和 2 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学士の学位を授与された者又は令和 2 年 3 月 31 日までに授与見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (6) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学したものであって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (7) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 2 年 3 月 31 日までに 22 歳に達した者

※ (7) により出願する場合は、次項「**2. 出願資格審査**」をご覧ください。

2. 出願資格審査（※ 大学を卒業している方は必要ありません）

前出「2. 出願資格」の(7)により出願する場合は、出願前に出願資格審査を受けていただきます。

出願資格審査において本学から「出願資格あり」と認定された後、聴講生の出願をしてください。

(1) 出願資格審査 提出書類

出願資格審査の申請にあたっては、次の書類を提出してください。

① 出願資格審査申請書 <様式>

② 最終学歴校の卒業証明書

③ 次のアからエのうちいずれか 1 つ以上の書類

ア 研修学校（厚生労働省、看護協会、都道府県など公共又はそれに匹敵する機関の 6 ヶ月以上の看護教員養成課程）又は継続教育（看護管理者養成課程ファーストレベル以上）などの修了証明書

イ 認定看護師認定証の写し（A4 版に縮小）

ウ 大学院研究生研究事項証明書及び研究論文写し

エ 研究業績書 <様式 6> 及び主な研究論文等の写し

※ 様式は、本学ホームページ(<https://www.rcakita.ac.jp/>) から様式をダウンロードすることができます。

※ 申請書類に不備がある場合は、受付後であっても、これを受理しません。

※ 申請書類に虚偽の記載がある場合は、出願許可の後であっても、これを取り消します。

※ 提出した出願書類は、いかなる事由があっても、返還しません。

(2) 出願資格審査 審査方法

提出された書類により審査します。

(3) 出願資格審査 結果の通知

審査の結果はメールで通知します。聴講生出願資格申請書に記載されているメールアドレスに送信しますので、確認してください。

(4) 出願資格認定基準

基準：次の i に該当し、かつ ii から v のうちいずれか 1 つ以上に当てはまること。

- i 短期大学を卒業していること、又は専修学校・各種学校等を修了していること
- ii 研修学校（厚生労働省、看護協会、都道府県など公共又はそれに匹敵する期間の 6 ヶ月以上の看護教員養成課程）又は継続教育（看護管理者養成課程ファーストレベル以上）などを修了していること。
- iii 認定看護師の資格を有すること。
- iv 大学院の研究生として 1 年以上在籍し、成果を修めていること。
- v 業績（学術及び専門誌での論文掲載、学会発表等）を有すること。

3. 聴講生 出願

(1) 聴講生 出願期間

令和 2 年 3 月 2 日（月）から 3 月 27 日（金）まで

必要書類を郵送（簡易書留又はレターパックライト）又は持参により必着

(2) 聴講生 提出書類

出願にあたっては、次の書類を提出してください。

- ① 聴講生受講願書 <本学様式>
- ② 聴講生履歴書 <本学様式>
- ③ 出願資格を証する書類

※ 様式本学ホームページ(<https://www.rcakita.ac.jp/>) からダウンロードすることができます。

※ 出願書類に不備がある場合は、書類受付後であっても、これを受理しません。

※ 出願書類に虚偽の記載がある場合は、受講許可の後であっても、これを取り消します。

※ 提出した出願書類受講料は、いかなる事由があっても、返還しません。

4. 聴講生 選考方法

選考は、原則として書類により行います。学力試験は行いません。

5. 聴講生 選考結果の通知

聴講許可発表日に結果をメールでお知らせします。受講願書には本人が確認できるメールアドレスを記入してください。

6. 受講手続

(1) 受講手続期間

令和 2 年 4 月 2 日(木)から 4 月 30 日(木)まで

(2) 提出書類

聴講生として受講を許可された方には下記の書類を提出していただきます。

① 受講料振込控用紙

希望科目が開講されるか確認の上、所定の振込用紙にて金融機関でお振込みください。

② 聴講生カード

すべて記入し、本学学務課へ提出してください。

③ 写真 2 枚（2.5 cm×3 cm）

聴講生証に使用します。提出後、3 日以降で聴講生証をお渡しします。

7. 費用

(1) 受講料：20,000 円/1 単位

入学後、履修科目に応じた振込用紙をお渡しします。

(2) 実験及び実習に要する費用：必要に応じて聴講生の負担となる場合があります。

8. 授業時間及びシラバス

(1) 授業時間

授業時間	
1 限	9 : 0 0 – 1 0 : 3 0
2 限	1 0 : 4 0 – 1 2 : 1 0
3 限	1 3 : 0 0 – 1 4 : 3 0
4 限	1 4 : 4 0 – 1 6 : 1 0
5 限	1 6 : 2 0 – 1 7 : 5 0
6 限	1 8 : 0 0 – 1 9 : 3 0
7 限	1 9 : 4 0 – 2 1 : 1 0

- ・木曜日から土曜日を中心に授業が行われますが、月曜日から水曜日または日曜祝祭日に開講する場合があります。
- ・科目によっては、毎回同じ曜日の同じ時間に授業が実施されるとは限りません。

(2) シラバス

授業内容や授業計画等を記載したシラバスは、本学の公式ホームページで公開していますので、参照してください。

<https://portal.rcakita.ac.jp/campusweb/slbsrch.do>

9. その他留意事項

- ・聴講生への受講許可は、受講を許可された年度内とします。ただし、引き続き受講を希望する場合は、期間を延長することができます。
- ・聴講生には聴講生証を発行します。図書館等の利用時に使用しますので、来学時は持参してください。
- ・聴講生に対しては、学割証、通学証明書、在学証明書は発行できません。
- ・手続期間内に所定の手続きを完了しない場合は、受講の許可を取り消します。
- ・出願期間後は原則として履修科目の変更を認めません。
- ・本学学生の履修者がなかった授業科目は開講中止となるので、履修できません。
- ・納入した納付金は返還しません。ただし、本学の都合による授業科目の開講中止の場合は、当該科目分の受講料を返還します。

ご不明な点についてのお問い合わせ、すべての郵送物の送付は下記へお願いします。

日本赤十字秋田看護大学
事務局学務課教務係大学院担当

電話 018-829-4171 (直通)

FAX 018-829-3030

MAIL g-school@rcakita.ac.jp

住所 〒010-1493

秋田市上北手猿田字苗代沢 17 番地 3